

休日在宅当番医のお知らせ

月/日	内科医 (電話番号)	外科医 (電話番号)
4/16	山喜医院 (☎62-0646)	石川医院 (☎66-2140)
26	星野(幸)医院 (☎66-2103)	佐々木医院 (☎62-2357)
29	杏仁堂医院 (☎62-0123)	金井医院 (☎62-0116)
5/3	霜鳥医院 (☎62-0579)	寺師医院 (☎62-0137)
4	小林医院 (☎62-0562)	石川医院 (☎66-2140)
5	堀医院 (☎66-2133)	佐々木医院 (☎62-2357)
10	田崎医院 (☎62-1122)	金井医院 (☎62-0116)

※診療時間は、内科・外科とも午前9時から午後5時までです。
 ※時間外でやむを得ない時は、当番医の変更の有無を役場(☎66-2002)へ確かめてから受診してください。



人口の動き

3月末日現在・(前月比)・前年比

人口	11,912人 (+2) [+138]
男	5,829人 (+13) [+71]
女	6,083人 (-11) [+67]
世帯数	2,444戸 (+2) [+32]

《町内交通事故発生状況》

区分	件数		死者		傷者	
	3月中	累計	3月中	累計	3月中	累計
62	2	7	0	0	2	8
61	0	3	0	0	0	3
比較増減	+2	+4	±0	±0	+2	+5

死亡事故0 連続314日(3/1日現在)

ゴールデン・ウィークの交通事故防止運動
4月29日(水)～5月5日(火)

❖運動の重点

- ①正しい方法によるシートベルト・ヘルメット着用の徹底
- ②悪質無謀運転の追放

❖スローガン

乗る人に ベルトすすめる 思いやり

- 消防車・救急車の要請は☎119
- 無憂苑斎場の申込みは与板郷消防署 ☎0258-72-2572

広 報

昭和62年

4月 No.164

なかのしま

編集と発行/南蒲原郡中之島町役場企画課
(〒954-01 ☎0258-66-2270)



(4月6日 中之島中央小学校で)

おもな内容

- ・昭和62年度予算について②～⑦
- ・3月町議会定例会から⑥～⑦
- ・昭和60年国勢調査結果⑧～⑨
- ・嘱託員を紹介します⑩
- ・中村一衛さん永年勤続功労章⑬
- ・商工会青年部県知事表彰⑭
- ・昭和62年度スポーツ事業⑮
- ・休日在宅当番医のお知らせ⑯

- ・中学校 百六十九名
- ・小学校 百七十一名
- ・保育所 百七十一名
- 〔新入所・入学者数〕

先生、おにいさん、おねえさん、
よろしくお願ひします。

春の陽ざしのなかで、私たちは
一年生になりました。
何もかもが新しく、うれしく
て、そしてちよっぴり不安で……
ランドセルがずしんと重けれど、
はやくみんなと仲良くなつて勉強
や遊びやいろんなことにがんばり
ます。

うれし
い
入
学
式

表紙説明

町民の暮らし

豊かな田舎づくりをめざして 各種事業を積極的に推進

昭和六十二年中之島町の予算は、一般会計のほか
 決まりましたので、ご紹介します。 三つの特別会計からなっています。

会計	予 算 額	前 年 比
一 般 会 計	二十四億二千三十二万円	一・〇%の増
国民健康保険特別会計	五億五千七百七十三万円	六・三%の減
老人保健特別会計	四億六千六百五十三万円	一・七%の増
農業集落排水事業特別会計	二千五百二十九万円	—
合 計	三十四億六千三百八十七万円	一・〇%の増

一般会計

○町制施行後初めての一般会計予算は、新しい町民憲章に十分配慮しながら、健全財政の確保を基本として、一般行政経費の節減化に努めるとともに、町民ニーズの多様化に応え、必要性・緊急性の高い事業を重点的に実施することとし、

- ①安全で快適な住みよい町づくり
- ②教育・文化・レクリエーション施設の充実

③産業振興と雇用機会の確保
 ④福祉の増進と健康づくり

の四項目を本年度の重点施策の柱としてかかげ、「子や孫たちがここに生まれ、住むことに誇りと喜びのもてる産業と文化の調和のとれた町づくり」を目標として作られました。

予算額は前年度より一・〇%増え、二十四億二千三十二万円となりました。ここでは、昭和六十二年の当初予算を四つの重点施策に分類し、その事業ごとに予算の概要を紹介します。

安全で快適な住みよい町づくりに

生活関連道路の整備に

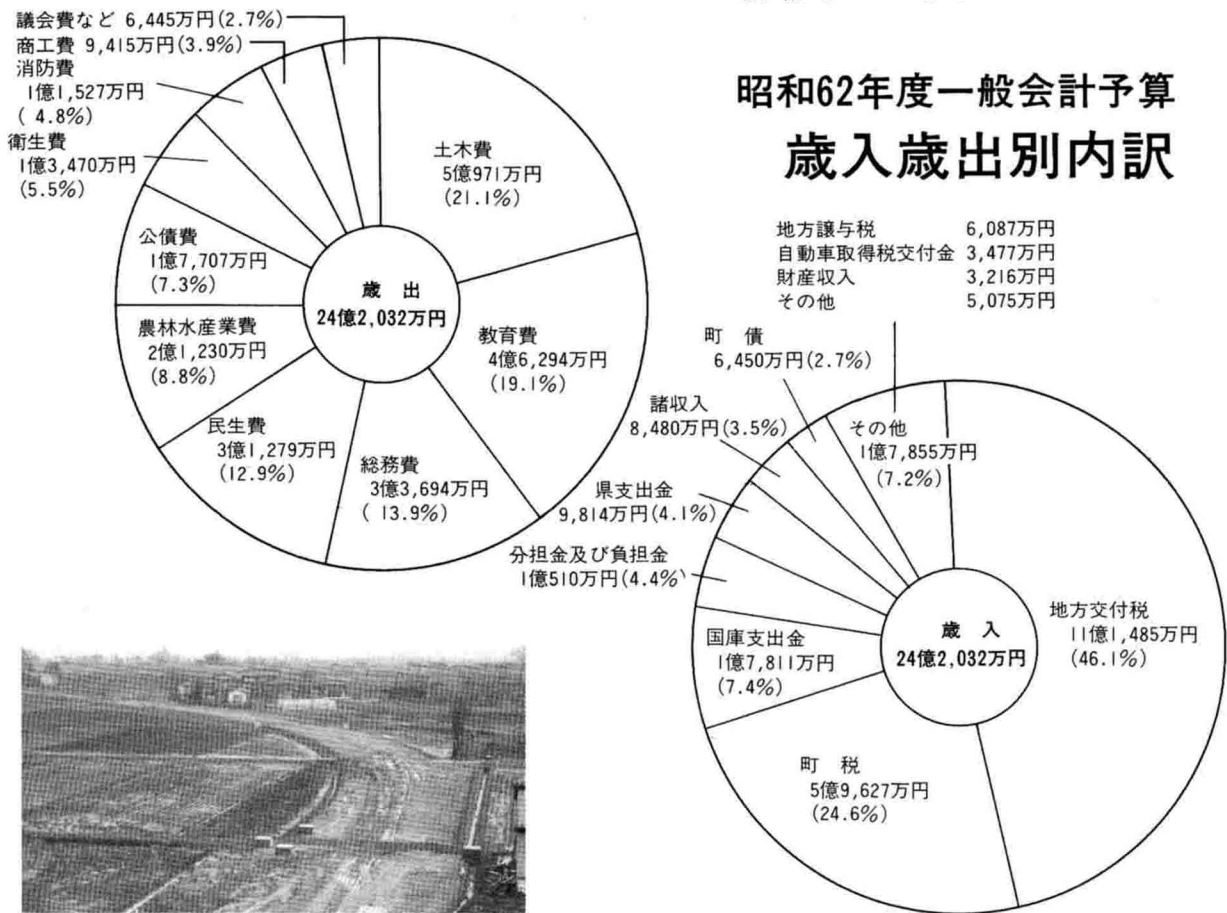
- 町道新設改良事業に 一億二千五百万円
- 町の単独事業として、道路改良工事十二路線、舗装工事七路線および県道工事負担金です。
- 地方道改修費に 九千三百九十八万円
- 国の補助事業、臨交事業として、興野松ヶ崎線外三路線の改良・舗装工事費です。
- 中西橋かけ替工事に 七千六百十六万円

道路除雪体制の整備充実

- 町道修繕工事および補修用砂利購入に 二千二百四十八万円
- 道路除雪等の委託料として 三千万円
- ロータリー除雪装置の購入に 九百万円
- 町道融雪施設工事費補助金として 一千万円
- 消雪パイプ工事に対する補助金の交付方法については、前回の広報「なかのしま」の町政懇談会特集号に載せてあります。



昭和62年度一般会計予算 歳入歳出別内訳



都市計画事業の推進に

- 児童公園整備事業に(中之島藤山地区) 九百万円
- 街路改良工事に 六千万円
- 街路中之島線の役場と猫興野間の舗装工事が完了し、待望の全線供用開始となります。
- また、街路二本木線は大竹邸前の農業倉庫の附近の一部が未整備となっていますが、二年計画で改良整備します。

集落排水事業の推進に

- 下水道整備事業の基礎調査・基本計画作成委託料として 六百七十七万円
- 最近、都市化の著しい進展により、農村にも都市的機能を高める要望が強くなって参りました。特に、市街化区域内の開発が進み、農業用排水路の汚濁が心配されることから、その対応策として基礎調査を行うものです。
- 農業兼用集落排水路整備事業補助金として(集落外排水路が対象) 五百万円
- 集落下水路整備事業補助金(集落内排水路が対象) 三百五十万円

交通安全対策の推進に

- 交通安全施設の整備に 五百三十五万円

消防防災の充実に

- 交通安全対策に 五百五十万円
- 与板郷消防奇場事務組合負担金(消防分) 六千二百二十八万円
- 消防施設の整備に 二千七百九十九万円
- 防火水槽四十トン級一槽、二十トン級三槽、消火栓三基、小型動力ポンプ購入三台ほかを整備します。

住みよい環境の整備に

- 衛生害虫防疫薬剤購入に 三百四十一万円
- ごみ収集業務委託料に 一千二百万円
- 三島郡清掃センター組合ごみ処理負担金に 一千五百三十一万円
- 三島郡清掃センター組合不燃物最終処分場建設費負担金に 六百四十一万円
- 新しい不燃物の最終処分場を寺泊町に建設することになりました。
- 三島郡清掃センター組合し尿処理負担金に 一千六百三十七万円
- 見附市水道事業補助金として 百五十万円
- 与板郷消防、奇場事務組合負担金(奇場分)に 三百四十一万円

教育・文化・レクリエーション施設の充実に

学校教育の充実に

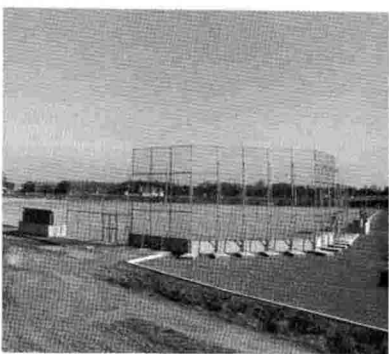
- ◎冬期通学バス運行委託料として……………二百十七万円
- ◎スクールバス購入費に……………六百四十五万円
- ◎町教育研究協議会補助金として……………六十三万円
- ◎中央小体育館塗装替・修理工事に……………六百八十七万円
- ◎小学校校舎等の臨時修繕に……………二百九十万円
- ◎小学校教材備品等の充実に……………五百四十四万円
- ◎中学校校舎等の臨時修繕に……………二百五十万円
- ◎中学校教材備品等の充実に……………五百万円
- ◎中学校建設基金積立金として……………一億円

社会教育と文化活動の推進に

- ◎社会教育と文化活動の推進に……………五百六万円
- ◎分館交付金に……………百五十万円
- ◎西所分館臨時修繕に……………三百九十五万円

スポーツ施設の充実に

- ◎町営野球場の照明施設工事に……………五十万円
- ◎昨年中条地内に完成した町営野球場にナイター施設を整備します。
- ◎サブグラウンド建設工事に……………七百万円
- ◎野球場となり多目的のサブグラウンドを整備します。
- ◎移动式ミニバスケットスタンド購入に(中通・中野・中条)……………五十三万円



産業の振興と雇用機会の確保に

農業振興対策に

- ◎地域農政推進対策事業を中心とする農業振興に……………一千五百万円
- ◎農道用敷砂利購入に……………七百万円
- ◎県営かんがい排水事業(長呂地区)分担金負担団体補助金として……………七百八十五万円
- ◎農免農道(信条地区)整備事業負担金に……………一千七百八万円
- ◎農道改良工事(六所地区)に……………一千十五万円

水田農業確立対策に

- ◎水田農業確立対策補助金として……………一千三百八十七万円
- ◎集団転作育成推進費補助金として……………一千五百五十万円
- ◎水田農業確立対策推進費補助金として……………百五十万円
- ◎以上三つは、転作の配分達成と団地化、定着化を図るため、町独自の奨励補助金を交付します。

商工業の振興対策に

- ◎商工振興事業補助金(商工会)として……………三百五十万円



- ◎産業育成資金貸付金に……………一千八百万円
- ◎町中小企業振興資金預託金として……………七百万円
- ◎町住宅建設緊急対策資金預託金として……………四千八百一十一万円
- ◎農村工業導入促進法に基づく工業団地指定に要する事務費に……………四十八万円

農村総合整備モデル事業の推進に

- ◎モデル事業による農道整備および集落農道整備事業に……………四千八百三十三万円
- ◎農業集落排水路整備事業に……………二千四百七十三万円
- ◎なお、農業集落排水路整備事業は、六十二年度から特別会計予算に計上しましたので、再掲となります。

福祉の増進と健康づくり

町民福祉の充実に

- ◎町立保育所の運営に……………一億八千九百九十四万円
- ◎児童手当の支給に……………二千二百一十一万円
- ◎青少年問題対策に……………四十六万円
- ◎町社会福祉協議会補助金として……………百五十一万円
- ◎老人いこいの家(刈谷田荘)の運営に……………三百万円
- ◎老人福祉の充実に……………三千二百四十三万円
- ◎母子家庭医療費の助成に……………四十四万円
- ◎障害者福祉の充実に……………一千百五十五万円

健康づくりの推進に

- ◎健康づくり活動の推進に……………百六十二万円
- ◎献血協力者記念品代に……………五十七万円
- ◎母子保健事業の推進に……………五百七十六万円
- ◎予防接種・結核検診などの予防費に……………六百八十五万円

成人病予防対策の推進に

- ◎本年度から、肺がん検診を新たに実施します。また、機能訓練事業を充実します。
- ◎精神障害者入院医療費助成に……………百二十六万円
- ◎休日夜間在宅当番医事業負担金に……………三十九万円

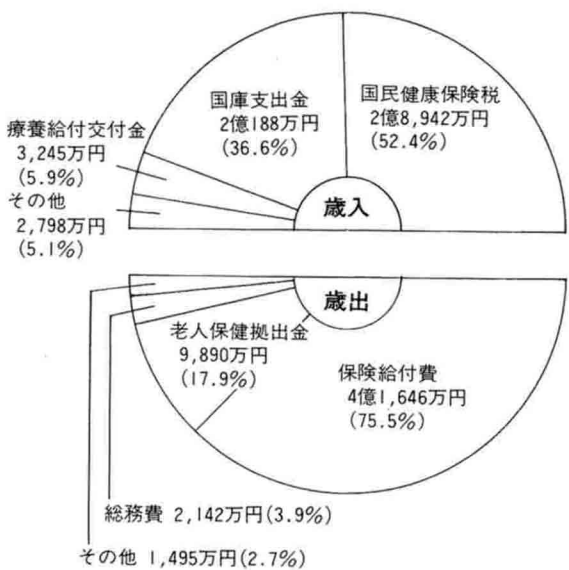


そのほかの事業に

- ◎役場庁舎裏駐車場舗装および消費パンプ工事に……………二千百万円
- ◎事務改善に伴う事務機器の購入に……………二百七十万円
- ◎町例規集(条例、規則など)改版代に……………八百六十万円
- ◎町議会議員選挙に……………三百七十八万円
- ◎農業委員会委員選挙に……………百六十一万円

国民健康保険特別会計

昭和62年度 予算総額 5億5,173万円



予算額は、前年度に比べ六・三%減り、五億五千七百三十三万円となりました。減少した理由は、老人保健法の改正により老人医療費の支払にあてられる老人医療費拠出金の負担が減ったことによるものです。主な予算の概要について紹介します。

保険給付費に

医療費などの支払にあてられる保険給付費は、前年度に比べ三・五%、一千四百二十四万円増え、予算総額の七十五・五%を占めました。なお、助産費は十三万円支給します。

◎老人保健拠出金に……………九千八百九十万円

老人医療費拠出金の計算方法が改正され、前年度に比較して三十二%、四千五百九十八万円の大幅な減になりました。

◎被保険者が負担する国民健康保険税の現年度課税分は……………二億八千四百四十八万円

国民健康保険税は、前年度に比較して四千八百八十八万円、十四・六%の減少となりました。

◎被保険者一人当たりの国民健康保険税は……………五万九千九百八十七円となり前年度(七月の本算定時)に比べ、五千六百九十八円、八・七%の減額になります。

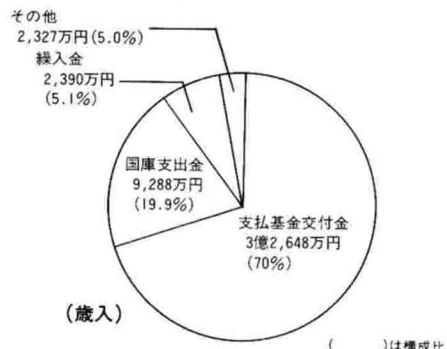
老人保健特別会計

老人医療費は、年々進む人口構造の高齢化と支給対象者数の増加により、やや上向きの傾向にあります。予算額は、前年度に比べ一・七%増の四億六千六百五十三万円となりました。

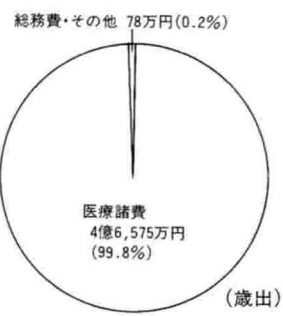
◎医療諸費は
 ……四億六千五百七十五万円
 老人医療費などの支払にあてられま
 す医療諸費は、前年度より一・七%、
 八百十万円増え、予算総額の九十九・
 八%を占めました。

◎一般会計からの繰入金
 ……二千三百九十万円
 医療費などの支払にあてられる一般
 会計からの繰入金は、一・六%、三十
 八万円増えました。

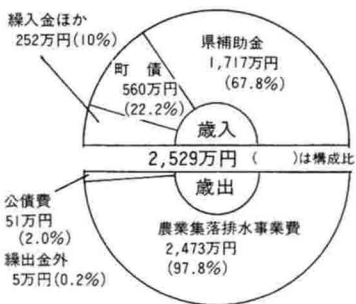
総額 4億6,653万円



農業集落排水事業特別会計



これまで、一般会計予算に計上されてきた農村総合整備モデル事業のうち、集落排水路整備に係る事業費は、昭和六十二年から特別会計となりました。予算額は、二千五百二十九万円です。このうち農業集落排水事業費は二千四百七十三万円です。



3月町議会定例会から

昭和六十二年一般会計予算 など十八議案を可決

三月定例町議会は、三月十一日から十日間の会期で開催され、三月二十日に閉会しました。この定例会では町制施行後初の予算編成で、昭和六十二年の各会計予算をはじめ、条例など町長提出議案が審議され、いずれも原案どおり可決されました。主な内容は次のとおりです。

条例関係

■中之島町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
 四月一日から、各非常勤特別職員の報酬を昨年度に比べて平均三・七三%引き上げたものです。

■中之島町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について
 団員の報酬(年額)を下表のとおり改正し、水災、警戒、訓練の場合の費用弁償についても、一回につき五百円を千八百円に改めたものです。

職名	改正前	改正後
団長	六万二千二百円	六万五千四百円
副団長	四万五千二百円	四万七千五百円
分団長	三万七千九百円	三万九千八百円
副分団長	一万九千三百円	二万七千九百円
部長	一万五千五百円	一万六千三百円
班長	九千円	九千五百円
団員	六千七百円	七千円
自動車隊	一万五千五百円	一万六千三百円

■中之島町農業集落排水事業特別会計に関する条例の制定について
 従来一般会計事業として取り扱ってきましたが、今後汚水処理を伴った施設整備が併せて行われるようになると、利用者が特定されたり、費用負担が多くなったりする恐れがあることから、適正な使用料を徴収し、より採算性を確保するために、

■中之島町重度心身障害者医療費助成に関する条例の全部改正について
 従来対象者に一定の制限があったものが一部緩和されたことによるものです。
 ■災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について
 今回の改正は、災害等により被害にあわれた方々に対して災害援護資金の貸付限度額が引き上げられたものです。(改正後の適用は七月十日以降に生じた罹災者から)

補正予算

■昭和六十一年度中之島町一般会計補正予算について
 補正額は一億五千六百九十二万三千円を追加し、総額二十六億九千九百七十七万六千円となりました。主な補正内容は次のとおりです。

- ▼教育費
- ・中学校建設基金積立金
- ……二億円
- ▼その他
- 各款項目で不用額(一部組替

請願

■大型間接税(売上税)導入とマル優制度の廃止に反対する請願
 売上税に反対する請願

その他

■昭和六十二年中之島町一般会計予算、国民健康保険特別会計予算、老人保健特別会計予算、農業集落排水事業特別会計予算について
 原案どおり可決されました。(内容は、本紙二七ページに掲載)
 ■土地改良事業の施行について
 土地改良事業として六所地区の団体営農道整備事業を施行するために

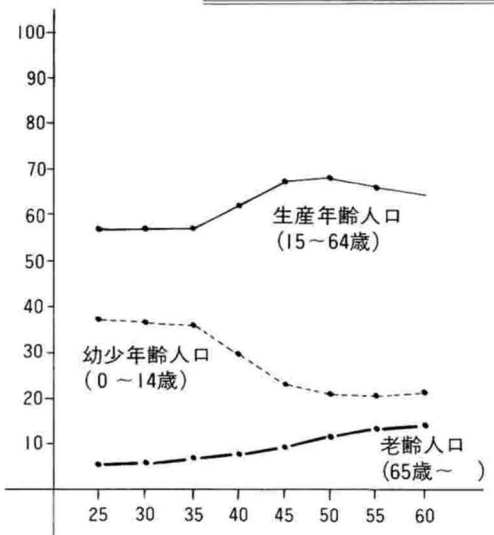


公営企業として位置づけ、一定の要件のもとに下水道事業債の対象とされたことに伴い、今年度より新しく特別会計を設置するものです。
 ■中之島町立保育所条例の全部を改正する条例について
 保育所の入所基準は従来国の基準によって行われていたものが、今回より町の条例により行われることによる改正です。
 ■中之島町立保育所措置費負担徴収条例の一部改正について
 従来は国の基準により措置費を徴収していたものを町の条例により徴収することに改正したものです。
 ■中之島町老人医療費助成に関する条例の一部改正について
 他の年金等の法律改正に伴い、条例の一部を改正したものです。

議会の議決を得たものです。
 ■町道の路線の認定・廃止・変更について
 町道として新しく十一路線を認定するとともに、十一路線を廃止し、三路線を変更しました。
 ■議員提案による次の三議案が原案どおり可決されました。
 ▼中之島町議会委員会条例の全部を改正する条例について
 昨年三月議会において議員定数が二十名に変更されたことに伴い、今回全部改正されたものです。
 ▼大型間接税(売上税)導入とマル優制度の廃止に反対する意見書の提出について(原案どおり可決)
 ▼売上税に反対する意見書の提出について(原案どおり可決)



年齢区分別人口構成割合



※()内数字は%

区分年	幼少年年齢人口 (0~14歳)	生産年齢人口 (15~64歳)	高齢人口 (65歳~)	総数
25	5,288(37.6)	8,016(57.0)	752(5.4)	14,056
30	5,190(37.0)	7,999(57.0)	856(6.0)	14,045
35	4,795(36.0)	7,573(56.9)	935(7.1)	13,303
40	3,744(30.2)	7,683(61.9)	990(7.9)	12,417
45	2,720(23.5)	7,744(66.9)	1,120(9.6)	11,584
50	2,329(21.0)	7,537(67.8)	1,250(11.2)	11,116
55	2,257(20.5)	7,272(66.0)	1,488(13.5)	11,017
60	2,475(21.5)	7,411(64.5)	1,613(14.0)	11,499

ご覧下さい。(最下段参照)年を追うごとに下の方がせまくなり、逆に上の方が横に広がっていることに気づ

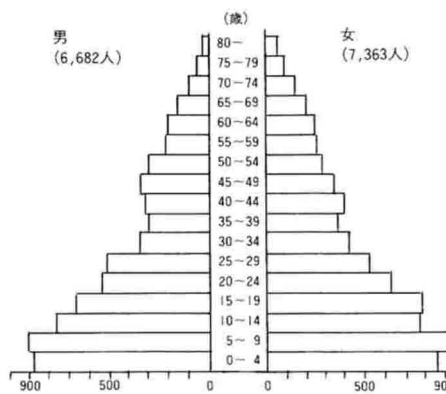
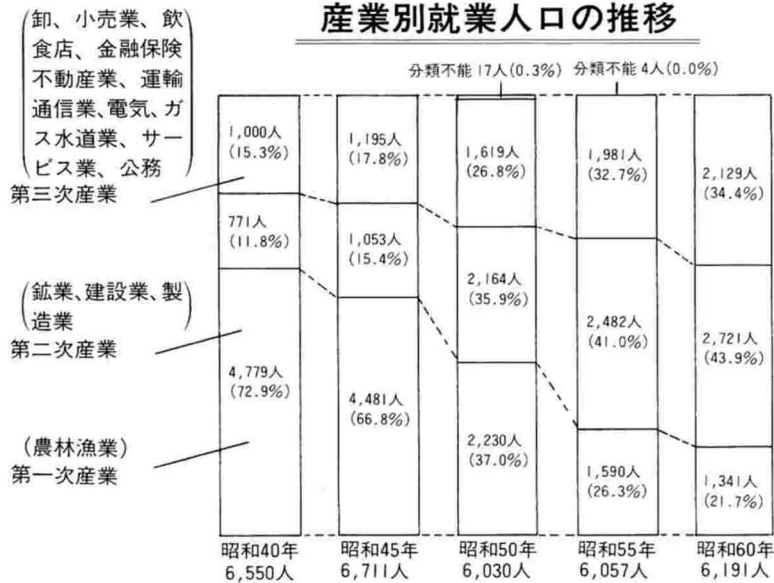
られると思います。これは若年層が減り、老人が増えているということであり、全体として高齢化へ向かっていることを意味しています。

ただ、特筆すべきこととして、今まで減少していた幼少年年齢人口(〇~十四歳)が、今回の調査で若干(一%)ながら増加したことが挙げられます。これも転入して来られた方が影響して

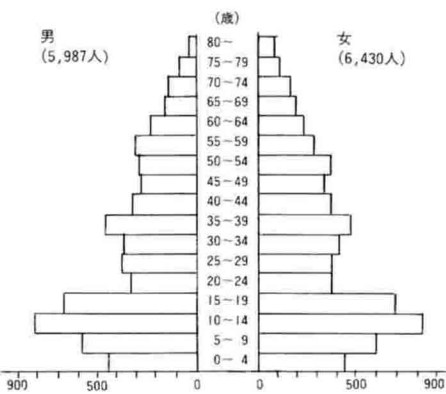
いるものと思われます。

昭和六十年国勢調査における就業人口は、前回と比べて二・二%増加して六、一九一人となりました。昭和四十年から五年ごとの就業人口の推移を図に表してみました。一回を重ねるごとに第一次産業が減少し、第二次、第三次産業が共に増加しています。

産業別就業人口の推移



昭和三十年年齢階層別人口



人口・世帯数の推移

区分年	人口			総世帯数	
	男	女	総数	世帯数	1世帯当たり人数
25	6,799	7,257	14,056	2,073	6.8
30	6,682	7,363	14,045	2,099	6.7
35	6,302	7,001	13,303	2,132	6.2
40	5,987	6,430	12,417	2,144	5.8
45	5,611	5,973	11,584	2,139	5.4
50	5,419	5,697	11,116	2,180	5.1
55	5,368	5,649	11,017	2,218	5.0
60	5,597	5,902	11,499	2,360	4.9

昭和六十年国勢調査の概数としてすでお知らせしたとおり、人口は一一、四九九人(男五、五九七人、女五、九〇二人)、世帯数は二、三六〇戸に確定しました。

次に、昭和三十年からの調査結果を

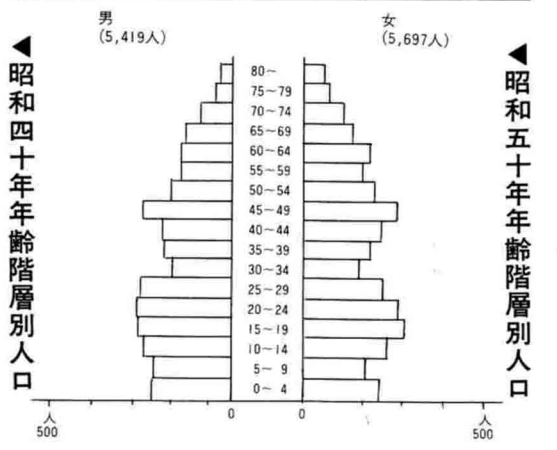
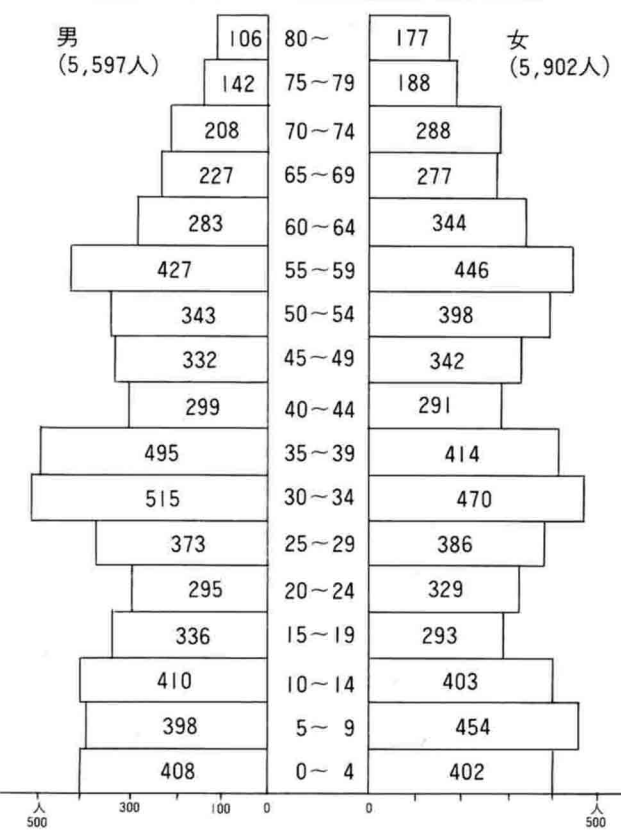
昭和六十年十月一日現在で全国一斉に実施された国勢調査の結果について、現在までに公表されたもののうち、次の三点―人口、世帯数・年齢別人口・産業別就業人口―についてお知らせいたします。



図に表して見ましたのでご覧ください。五十年まで減少の一途をたどってきた人口は五十五年にはその減少率が鈍化、更には今回は大幅増加に転じました。人口の増加は、今回の調査結果の大きな特色と言えますが、原因の一つとして皆さんもご承知のとおり、中之島地区及び上通地区の宅地開発による転入者の増加があげられます。今後もこのような傾向が続くと思われ、人口増加が期待されます。

また、一世帯当たりの人員数については、今回は四・九人となり核家族化が一層進んでいます。

昭和60年年齢階層別人口



昭和四十年年齢階層別人口

昭和五十年年齢階層別人口

～「印鑑登録証」の交換はお早めに(登録証および認印持参のこと)～

一選挙に関する問い合わせ先一 中之島町選挙管理委員会 (☎66-2002・内線22)

町政と町民の皆さんのパイプ役
昭和六十二年 嘱託員が決まりました

中之島地区

中之島第一 小坂井 源次郎
中之島第二 石庭高 一尾
中之島第三 藤庭高 武多

中通地区

杉之 田之口 孝義
高畑 今泉 惠實
横山 正英 智

中条地区

中条第一 原 銑之助
中条第二 吉野 義雄
中条第三 狩野 和雄

上通地区

灰島新田 荒川 幸夫
大曲戸野 池田 幸夫

中野地区

中野東 小野 勇雄
中野中 小根山 達雄

西所地区

西山新田 河内 守衛
西野 山崎 正文

三沼地地

三沼地地

信条地区

真野代新田 室橋 正徹
中条新田第一 齋藤 登

教職員の人事異動

(敬称略・カッコ内は転出校、前任校)

赤沼 高川 英輔
大沼 橋崎 桂介

中野連合 池田 太計
中条連合 山田 清徳

尾市栃尾中
中之島中学校



中之島中央小学校

校長 岩田 義徳 (定年退職)
教諭 山田 一正 (中之島町中之島中)

信条小学校

校長 徳橋 達男 (定年退職)
教諭 三本 保正 (中之島町中之島中央小)

中之島北中学校

校長 佐原 精四郎 (三条市本成寺中)
教諭 久保 嘉則 (勸奨退職)

役場人事異動

(四月一日付・カッコ内は前職)

庁内
(庶務課) 課長：小柳 勇 (教育委員会局長)
(庶務課) 課長：本間 昌次 (庶務課長補佐兼庶務係長)

保育所
(中之島保育所) 所長：佐々木 タカ (中野保育所長)
(中之島保育所) 所長：鈴木 勝代 (上通保育所保育所長)

退職
池上 清 (庶務課長)
田中 敏夫 (産業課長)

民俗資料館開館日
毎月5日・15日・25日
午前9時～午後4時

大竹邸記念館開館日
第1・第3金曜日、第2日曜日
午前10時～午後3時



月日	名称	対象
5月	スポーツ教室 (バレーボール バドミントン 卓球)	一般町民 (10回コース各20名)
5月24日~	町長旗争奪社会人野球大会	"
6月7日	「県民スポーツの日」 中之島~田上間駅伝競走大会	三市南蒲
6月28日	近郷卓球大会	近郷市町村
7月5日	社会人 野球決勝トーナメント大会	"
7月12日	婦人バレーボール大会	婦人
7月19日	硬式テニス大会	一般町民
7月19日	野球連盟杯 争奪トーナメント大会	"
未定	南蒲原郡親善野球大会	"
8月2日	少年球技大会(野球・ミニバスケット)	小学生
8月9日	早朝マラソン大会	一般町民
8月9・10日	少年リーダー研修会	小学校5年生
未定	近郷野球大会	近郷市町村
10月10日 11日	総合体育祭 (バレーボール・バドミントン・柔剣道・卓球・野球・テニス・ゲートボール)	一般町民
11月3日	町内一周 駅伝競走大会	中学生以上 一般町民
未定	近郷婦人バレーボール大会	婦人

※詳しいことは教育委員会
(見附66-3242)へ

教育委員会では、社会教育事業の一環として次の表のとおり
スポーツ行事等を予定しています。からだを動かしていい汗
流しましょう。皆さんの参加をお待ちしています!

スポーツで楽しく 健康・体力づくり

中之島町史
好評発売中

第十一回 町民俳句研修会

中之島町俳句連盟では、次により
第十一回町民俳句研修会を開催
します。多数ご参加ください。

- ・ 期日 五月十七日(日) 午後一時
- ・ 会場 中之島町公民館
- ・ 題 菜の花・ぶらんこ・
果箱・五句一組限り
- ・ 入句料 五百円同封のこと
- ・ 賞 合点十位まで
- ・ 投句所 中之島 岡田饒保
(富士屋酒店)
- ・ 席題 春雑詠 三句一組限

好中之島町史
好評発売中

心配ごと相談(行政・人権相談も含む) ●毎週火曜日午後1時~4時
●中之島町公民館



中村一衛さん

消防庁長官
永年勤続功労章
を受賞

昭和二十一年消防団入団以来、通算
三十一年の永きにわたり消防防災業務
にたずさわり、昭和五十二年から消防
団長として活躍されている中村一衛さ
ん(中条宮村・五十七歳)が、このほ
ど消防庁長官より晴れの永年勤続功労
章を受賞されました。
ますますご活躍されることをお祈り
いたします。

中之島町商工会青年部

“環境美化”で県知事表彰!!

県では、昭和五十八年度から環境美
化運動について、模範的な活動を実践
している学校、団体を表彰しています
が、このたび、この模範団体として当
町の商工会青年部(部長本名浩利さん
部員四十六名)が選ばれ、去る三月十
一日新潟県庁において表彰されました。
商工会青年部では、昭和五十七年か
ら毎年「ふるさとを歩こう」をキャッ
チフレーズに掲げ、町内に広く参加を
呼びかけ、町内の名所を巡りながらそ
の沿道に捨てられた空き缶やゴミなど
を回収してきました。



行っており、これらの活動が認められ、
今回の表彰となったものです。
受章をお祝いするとともに、私たち
も日ごろからきれいな町づくりに心が
けたいものです。

重度心身障害者 医療費制度が 改正されました

重度心身障害者医療費助成制度
については、昭和六十二年四月以
降左記のとおり改正されましたの
でお知らせします。
〔対象者〕
満六十五歳未満の人で、
(1)療育手帳Aを所持している人
又は
(2)身体障害者手帳の一級又は二
級を所持している人
〔助成の範囲〕
医療機関等に受診した際、保険の自
己負担額の一部(老人保健法に定める
一部負担金として、外来は一月あたり
八〇〇円、入院は一日につき四〇〇円
を控除した額)を助成します。
詳しいことは役場住民福祉課へお問
い合わせください。

六十一年度の 保険料は 納めましたか

六十一年度(六十二年四月分
から六十二年三月分まで)の保
険料は四月中であれば役場から
送付されている納付書によって
納めることができます。
納めないままにしておくこと
も、年金が受けられなくなることも
あります。
未納の方は必ず月末までに納
めてください。

追弔法会 においでください

町及び仏教連合会共催による第八十
一回追弔法会が次により行われます。
大勢の方のご参拝をお待ちしていま
す。
・ 日時 昭和六十二年五月五日
午前十時
・ 宿坊 明源寺(松ヶ崎新田)

